

【基本情報】

教科	国語	学年	1年	教科書	国語総合 改訂版（筑摩書房）
科目	国語総合（古典分野）	単位数 （年間予定コマ数）	2 （96）	副教材	新版五訂 完全マスター古典文法（第一学習社） 新版五訂 完全マスター古典文法準拠ノート基礎固め（第一学習社） わかる・読める・解ける Key&Point古文単語330 三訂版（いっずな書店） 基礎から解釈へ 漢文必携 四訂版（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携 チェックノート・基本編（桐原書店） 新版六訂 新訂総合国語便覧（第一学習社） 古語辞典（古文）、漢和辞典（漢文）
科目概要	古典読解のための、基本的な語彙力・文法力を身につける学習を行います。				
到達目標	古文では以下の項目の習得をととして、文章理解のための基本的な語彙力・文法力を身につけることを目指します。 ・文 法 … 用言および助詞・助動詞の意味用法 ・古文単語 … 「古文単語330」に掲載されている単語（330語程度）の意味用法 ・古文常識 … 暦法・官位・旧国名など古文読解のために必要な知識 ・文学史 … 上代～近世までの代表的な文学作品と作者名 漢文では以下の項目の習得をととして、文章理解のための基本的な語彙力・文法力を身につけることを目指します。 ・句 法 … 「漢文必携」付属の「句形マスターシート」に掲載されている句形（60個） ・漢字の用法 … 「漢文必携」P89～P154「語彙編」に掲載されている漢字（100字程度）の意味用法 ・文学史 … 中国の歴代王朝名、諸子百家とその概要、漢詩に関する基本的な知識と代表的な詩人				
授業の進め方	教科書を基本としますが、効率よく学習を進めていくためにプリントも使用します。 また、文法事項と語彙習得のため、古文・漢文ともに小テストを随時実施します。				
留意事項	教科書、副教材(古語辞典・漢和辞典を含む)、プリント等を忘れずに準備してください。 古文・漢文ともに「ノート作り」をして授業に臨んでください。				
家庭学習	最初は基本的事項から学習するので、復習をしっかりしてください。その復習も一度だけではなく反復することが重要です。 学習内容の定着とともに、予習の度合いを増やしていきましょう。 予習においては「ノート作り」を主眼にしてください。 【古文】①本文の準備 ②辞典を用いて単語の品詞と意味を確認 ③副教材「完全マスター古典文法」を用いて文法事項を調べておく ④現代語訳 【漢文】上記①～④の他に、⑤書き下し文を書く が加わります。				
備考					

【評価の方法】

観 点	ポ イ ン ト	割 合	評 価 項 目
A. 関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとする。	10%	・授業ワークシート、協働学習、小テスト、定期試験等、随時観点別の評価項目を設定し、評価します。 ※考査は現代文と古典を別々に実施しますが、評価は国語総合として行います（現代文50%、古典50%）。したがって、現代文か古典のどちらかだけでは好成績を上げることはできません。両方に力を入れて取り組んでください。
B. 話す・聞く能力			
C. 書く能力			
D. 読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取る事でものの見方・感じ方・考え方を豊かにする。	20%	
E. 知識・理解	古典の理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身につけている。	70%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学 習 内 容	観 点 別 評 価					到 達 目 標
			A	B	C	D	E	
オリエンテーション	1		○					・国語総合のねらい、学習方法について理解する。
古文 入門	6	『宇治拾遺物語』児のそら寝 絵仏師良秀	○				○	・古文に親しむ心を育む。 ・語句の意味・文語のきまりを理解する。 【歴史的仮名遣い】【品詞の種類】【活用と活用形】 【用言の活用】【品詞の接続】
漢文 入門 故事 一	6	漢文を学ぶために 訓読のきまり 『戦国策』借虎威 『唐詩紀事』推敲	○				○	・漢文に親しむ心を育む。 ・訓読のきまりと、漢文の文の構造を理解する。 【訓読の基礎】【書き下し文のきまり】 【再読文字】【助字】【置き字】
前期中間考査	1							
古文 入門 物語	8	『十訓抄』大江山 『竹取物語』かぐや姫誕生				○	○	・平安時代の人々の生活やものの見方・感じ方を理解する。 ・物語の内容を理解し、登場人物の心情を読み取る。 ・文語のきまりを理解する。 【敬語】【係り結び】【助動詞】
漢文 故事 一 故事 二	6	『列子』朝三暮四 『孟子』五十歩百歩 『淮南子』塞翁馬	○			○		・故事成語の成立と、その意味を深く理解しようとする。 ・表現の技法や文体など筆者の工夫をとらえて読む。
古文 物語	8	『伊勢物語』芥川 東下り 筒井筒				○	○	・登場人物の心情の推移を的確に捉える。 ・文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、歴史的背景も含めて読みを深める。 【助動詞の識別】
漢文 唐詩 一	3	五言絶句 絶句 七言絶句 静夜思 五言律詩 春望 七言律詩 送友人	○				○	・情景、心情を正確に読み取り、修辞技法の表現効果を理解する。 【漢詩のきまり】
前期期末考査	1							
古文 日記	10	『土佐日記』門出、帰京 『更級日記』東路の道の果て				○	○	・登場人物の心情の推移を的確に捉える。 【助動詞の識別】
漢文 史伝	7	『十八史略』管鮑之交 刺客荆軻	○				○	・史伝の面白さを味わい、中国の歴史や文化に触れる。
古文 随筆	7	『徒然草』つれづれなるままに ある人、弓射ることを 習ふに				○	○	・随筆に描かれた鎌倉時代の人々の生活やものの見方、感じ方を理解する。 ・随筆の内容を正しく理解し、作者の心情を味わう。
後期中間考査	1							
古文 和歌と俳諧	8	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』				○	○	・各和歌集の和歌の特徴を理解する。 ・和歌の修辞技法や、語句の使い方について理解する。 ・和歌という表現方法の効果や、その文学史的価値について理解する。 【和歌の修辞】
漢文 思想	6	『論語』 『礼記』苛政猛於虎	○			○		・孔子、孟子が理想とした考えを表現に即して読み取る。 ・訓読のきまりを理解している。
古文 和歌と俳諧	5	『奥の細道』序、平泉				○	○	・俳諧の表現技法を踏まえて読む。 ・語句の意味、語句の用法について理解する。
後期期末考査	1							
古典文法演習	11					○	○	・助動詞および漢文句形についての理解を深める。